

NPO法人  
あしょろ観光協会だより  
No.35

# 蝦夷いとう

## 2015ウッドキャンドルナイト



# ごあいさつ

あしょろ観光協会

## 理事長 家常尚詞

# 十勝毎日新聞社本別支局長 鈴木裕之

日頃より当協会の運営、事業の推進にご協力賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は阿寒国立公園指定八〇周年を迎えて構成する阿寒広域観光協議会の記念イベントが行われました。当町ではオノネットー物語スキーハイキング、クリーン阿寒オノネットー地区清掃に「八〇周年記念」のタイトルを付けて盛り上げました。オノネットー、雌阿寒岳を行政地区とする足寄町としては今後とも同協議会と連携して、観光客の誘致に取り組んでいきたいと思います。ひいては阿寒湖の玄関口の一つであります当町、及び道の駅の入込客数増加につながります。足寄町の案内役として景観、温泉、食、特産品等をPRするのが仕事と自覚しております。

道の駅は現在では全国に一〇四〇ヶ所、道内で一四ヶ所、管内で一四ヶ所まで広がりました。休憩、情報発信、地域連携の三つの機能に加え近年では防災の機能に注目されています。道の駅が更に地域活性化の役割を担つていくと思われます。

先般、雑誌社がアンケートを集計して発表する恒例の“全道道の駅満足度ランクイングベスト三〇”が発表されました。当駅は第二五位となるとか三〇傑に入りました。魅力ある駅が増え、競合ひしめいでいる中で順位をつけられるのは大変な重圧がありましたが、今後も上位を目指して頑張つていただきたいと思います。これから訪れるドライブシーザン、忙しくなるのが楽しみです。町内の皆様のご利用もお待ちしております。



「私たち、千春の大ファンなんです。記念に写真

を頂けないでしょうか」。

昨年夏、町出身の歌手・

松山千春さん

の

自然

にも和歌山県から来たという私と同世代のご夫婦に会いました。早速モデルを依頼、快く引き受けさせていただきました。千春」と書かれた揃いの黒いTシャツを着込んだご夫婦は、わざわざ足寄に来るためにだけ休みを調整したとのこと。足寄観光のボテンシャルを感じたひとコマでした。全国区の千春さんにに関する話題ということもあり、記事は弊紙の社会面トップを飾りました。

足寄は管内市町村の中でも、豊富な観光資源を持つ自治体です。自然かな神秘の湖オノネットーや雌阿寒岳、特産のラワンブキはもちろん、古のロマンを感じることができる足寄動物化石博物館、放牧酪農で搾った牛乳を作るJ.A.あしょろのチーズ。枚挙にいとまがありません。十勝とオホーツクを結ぶ交通の要衝としてのアドバンテージもあります。昨年七月に着任以来、こうした話題を取材する機会に恵まれ、観光に関わる人たちの熱い思いを聴きました。冬のイベント「ウッドキャンドルナイト」を除雪作業に汗を流す青年たちの姿をカメラに収めながら、町のパワーも感じました。

最近では、里見が丘公園再整備計画について取材の機会がありました。弊紙の特報記事で「官民の知恵を結集した『町民力』が問われている」と結ばせせてもらいました。「オール十勝」の視点はもちろん大切ですが、十勝を構成する個々の市町村が輝きを放たないと意味がないのです。そして、魅力ある観光を生み出すために最も重要なのは、地域の住む人たちの熱意だと思います。しかし、求め人口減少社会の中で地方創生の必要性が叫ばれています。観光は町外人口を呼び込み外貨を稼ぐことがあります。観光は町外人口を呼び込み外貨を稼ぐことがあります。観光資源をどう有機的に運動させ、どういう層にどうアピールし、彼らが何を求めているかを的確に捉える結果を生み出すためには、観光客の満足度をいか向かせるかというソフト対策が大切だと思います。

「おもてなし」の心はもちろんですが、持つている明確な戦略と戦術の構築ではないでしょうか。まだ短い取材経験ですが、幸いにして足寄にはそれができる環境とマンパワーがあると感じています。これからも微力ながら、報道を通じて観光振興のお手伝いの一端を担うことができれば」という思いでいっぱいです。

# 2015年度 足寄町イベント開催予定表

(白抜きはあしょろ観光協会主管事業です)						
開催予定月日	イベント名	主催	イベントの主な内容	開催場所	問い合わせ先	電話(0156)
5月31日(日)	第34回 足寄ふるさと花まつり	同実行委員会	町民によるステージショーやカマス挙げ大会、焼き肉、お楽しみ抽選会など、足寄の春を楽しむイベント。今年は役場横駐車場で開催。	足寄町役場横 駐車場	経済課 林業商工観光室	25-2141 内線241 242
6月7日(日)	第64回 雌阿寒岳安全祈願祭	足寄あしょろ観光協会	今年1年の山の静寂と登山者の安全を祈願したあと、登山を行います。	雌阿寒岳登山口 (温泉側)	あしょろ観光協会	25-6131
7月8日(水)	第14回 観光名勝地視察ツアー	足寄あしょろ観光協会	より多くの町民に足寄町の観光名所を知ってもらうために町内の名所、文化財をバスで回るツアードです。	町内各地	あしょろ観光協会	25-6131
8月2日(日)	全国一斉国立公園清掃デー クリーン阿寒オンネットー 地区清掃活動	足寄あしょろ観光協会	毎年8月の第1日曜日に全国一斉に実施。足寄町も阿寒国立公園の「クリーン阿寒」事業に参加し、オンライン地区清掃活動を実施します。	オントー遊歩道 湯の滝遊歩道	あしょろ観光協会	25-6131
8月15日(土)	第36回 足寄ふるさと盆踊り大会 両国花火大会	同実行委員会	賞金つき仮装盆踊り大会、子どもも盆踊り大会、お楽しみ抽選会、花火大会などが予定されています。	足寄町民センター前	経済課 林業商工観光室	25-2141 内線241 242
9月27日(日)	第16回 2015 オンネットー物語	足寄あしょろ観光協会	オンラインの自然を満喫するイベント。自然ふれあい教室、軽音楽コンサート、農産物販売等を行います。	オシネトー 国設野営場ほか	あしょろ観光協会	25-6131
10月25日(日)	第10回道の駅まつり 第14回大収穫祭・秋の物産市	足寄あしょろ観光協会	農産物や特産品を生産者が自ら販売・PRし足寄町の味覚を紹介します。	道の駅あしょろ 銀河ホール21	あしょろ観光協会	25-6131
2016年 1月30日(土)	第5回 ウッドキャンドルナイト	同実行委員会	足寄町の森林資源であるカラマツ材を有効活用したウッドキャンドルやアイスキャンドルを灯し冬に町民が楽しむ場を創出します。	道の駅あしょろ 銀河ホール21	あしょろ観光協会	25-6131
2016年 2月7日(日)	第29回 雌阿寒温泉 スキーハイキング	足寄あしょろ観光協会	歩くスキーとスノーシューで、冬の阿寒国立公園雌阿寒温泉・オンライン地区の自然観察と森林浴を体験、終了後は温泉で休養します。	雌阿寒温泉を 発着するコース	あしょろ観光協会	25-6131

注：上記のイベントの日程や内容は、変更・中止される場合があります。



# 藤丸デパート新人研修奮闘記

足寄町役場 総務課 金谷美空

十一月十三日から十一月十八日までの六日間で行われた「藤丸オール十勝大収穫市」に、足寄町職員新人研修として参加させていただきました。

足寄町のPRを目的とし、全二十七品の特産品を販売しました。一人でも多くの方が足寄町に興味を持つてもらえるよう伝えるのはとても難しく、試行錯誤しながらの販売となりました。お客様に対して積極的に話しかけ、表情や反応を見て、どんな商品を求めているのか判断することが大切であると感じました。また、お客様だけでなく同じ販売員にも目を配り、連携して行動することで効率良く仕事ができるということを実感しました。



たことは、どんな仕事であつても根本的な部分は同じであるということです。お客様の気持ちを理解し接すること、チームワークを大切にし、協力して業務を行うとなりました。ありがとうございました。



足寄のチーズ

作りは一九八一

年に足寄町開拓農協が茂喜登牛の廃校跡を利用した工場で製造を開始したことから始まり、その後アルゴイ乳業、あしょろ農産公社へと引き継がれてきました。

二〇一四年、あしょろ農産公社が経営難から継続を断念しましたが、足寄町農業活性化のために今後の六次化を推進する上で、これまでの長い歴史の中で乳製品加工を担い苦難を乗り越えてきた製造工場を何とか継続させたいとの思いがあり、また生産者が作った生乳に付加価値付け、足寄町の特産品として販売したいとの考えのもとJAあしょろが新たにチーズ製造に取り組みました。

足寄町は山間地を利用した放牧酪農が盛んに行われ、町も「放牧酪農推進のまち」を宣言しており、魅力ある経営スタイルで新規就農者を呼び寄せてています。あしょろチーズ工房では、酪農家さんの大切な思いで作られた生乳を原料にチーズを作っています。

生乳は四季ごとに味や香り、成分が変化するので、チーズ作りはその変化に合わせて製造工程の微調整をしなければなりません。製造工程はミルクの殺菌、発酵、凝固、カット、攪拌、型詰、塩漬け、熟成と多岐にわたり、どの工程でも衛生

管理に気を配るのはもちろんですが、温度やpH（ペーハー）、さらには香りや

指先に伝わる弾力などにも注意を払い、良い製品を作ることを心がけています。

熟成は長いものでは一年以上をかけ、熟成庫内の香り、チーズの湿り、カビの状態を見ながら微生物が活動しやすい環境づくりに気を配っています。

昨年の五月に製造を開始し熟成期間の短いフレッシュタイプのチーズから出荷を始めましたが、今ではセミハードタイプ、ハードタイプのチーズの熟成も進み全部で一〇種類以上のチーズを出荷しています。

まだまだ駆け出しの工房ではありますですが、地元の皆様に愛され胸を張って「あしょろのチーズだ」と言つていただけるよう努力してまいりますので、何卒宜しくお願ひいたします。



# 足寄チーズ工房

# 女子会 in ASHORO

足寄の食材で  
おもてなし料理

ありがとう牧場『青空ヨーグルト』  
を使った特製ドレッシングの  
ヘルシーサラダ



①



②

かあちゃん漬物会『ラワンぶき三升漬』を使って  
簡単ペペロンチーノ



③

ひと手間で豪華料理  
アイザックス『しいたけカレー』の  
チーズ焼きカレー



④

① 『青空ヨーグルト』に塩・コショウ・ガーリックなどで味をととのえ、彩り野菜にかければ出来上がり。カリカリベーコン・フライドガーリックはお好みで。  
¥345

② お好みの野菜・ベーコンなどを炒め、ゆでたパスタをいれ、『三升漬け』・しょうゆなどで仕上げる。  
¥237 ¥483

③ カレーの中にごろごろと入ったしいたけを生かすあっさりモツツアレラチーズ（あしょろチーズ工房）をのせて、オーブンで焼き目をつける。  
¥463 ¥302

④ 『うますぎ』大和煮＆甘目の卵焼き＆サニーレタス＆マヨネーズをご飯とのりで包んだら、うますぎるおにぎらずの出来上がり。  
¥565

⑤ 牛乳・卵・バニラエッセンスを混ぜパケットを浸したら一晩寝かす。バターひとかけをのせて焼いたら、『木苺ジャム』との相性バッチリ。  
¥648



ベーカリーあしょろの『パケット』を使って  
フレンチトースト  
『あしょろの木苺のジャム』を添えて

こちらでご紹介した商品は、『道の駅あしょろ銀河ホール21』でお取り扱いしております。

# ネイパルあじょろ

ネイパル足寄所長  
杉山良雄

「道立青少年体験活動支援施設ネイパル足寄」は、道内各地の学校の宿泊研修をはじめ、本州からの修学旅行、子ども会事業や様々なスポーツ団体の合宿、またファミリー や仲良しへループなど、様々な形態で利用され親しまれて います。

「青少年体験活動支援施設」としての設置目的に沿つた多くの主催共催事業を企画し、実施する業務を担つさせてい

A black and white photograph showing a group of approximately ten people, mostly young children, sitting on the ground in a dense, wooded area. They are all wearing hats and outdoor gear like jackets and backpacks. Some are smiling at the camera, while others look towards the background. The scene suggests a field trip or a day out in nature.

現在八人いるスタッフは、  
そのような年間三百五十団体  
以上にも及ぶ多くの利用団体  
さん全てが満足されるよう、  
事前の各団体間との連絡調整  
や要望に応じた活動プログラン  
ム指導の傍ら、施設の維持管  
理業務にも携わっています。  
そしてさらには、北海道の  
条例により位置付けられた

で機運を高めて子どもたちを健全に育んでいこうという趣旨からです。

施設で活躍してきた社会人としてボランティアリーダーとして参加してくれます。このように子どもたちに直接する青年たちの熱意によって、当施設の運営が支えられてきています。



# あしょろ観光協会役職員の紹介

副理事長	山下	昇
理事長	家常尚詞	
監事	佐野大祐	明
幹事	八重煙	明
平野隆一	"	"
事阿部孝志	"	"
稻垣輝彦	"	"
相澤裕子	"	"
奥寺正朋	"	"
大西節夫	"	"
木村昭	"	"
加藤公康	"	"
齊藤和之	"	"
佐々木昭彦	"	"
瀬下正寿	"	"
三角久	"	"
党崎司	"	"
兩角孝明	"	"
星奈美子	"	"
伊藤貴之	"	"

# NPO法人 あしょろ観光協会事務局

〒089-3701

北海道足寄郡足寄町北1条1丁目3

TEL 0156-25-6131

FAX 0156-25-6132

Eメール info@ash

ホームページアドレス  
<http://www.echigo-kankei.jp/>

テレビから流れてくるコマーシャルに「丁度いい」のフレーズがある。余分もなく、不足もないの意味の他、快適な、スマートなことのイメージにも使われており、特定非営利法人の理念に適う言葉にも思えた。当協会もこの町にとって丁度いい存在でありたい。

今頃は寒過ぎず暑過ぎず暮らしに丁度いい季節で、寒さや暑さへの準備が省ける。当協会に相談頂き手間が省けることはないだろうか。あればお手伝いしたい。販売者、消費者、町内外の方それぞれの間を取り持つ役目がある。物事をスマートに運ぶのに丁度いい立ち位置にあるので、これからも丁寧に進めることを心掛けていきたい。

ただ「丁度いい」状態を保つのは結構難しい。強すぎても引き過ぎて読者の皆様より頂く苦言や要望を、きちんと受け止めることで可能になります。どうぞ宜しくお願いします。

## 編集後記